

13 学校施設の整備充実について

(文部科学省・財務省)

次代を担う児童・生徒の健全育成は全ての市民の願いであり、教育環境の一層の充実、本市の最重要施策の一つであります。

京都市では、これまでから学校施設の整備を積極的に推進しており、校舎などの増改築に当たっては、地域の生涯学習への対応や、耐震化の推進などによる防災機能の充実、地球環境への配慮のためのソーラーシステムの設置など、新しい時代に対応した学校施設の整備を進めております。

今後も、引き続き必要な事業量の確保を図り、計画的な事業実施に努めていくとともに、とりわけ、学校施設の耐震診断・耐震補強及び空調設備設置に対する補助については着実に計画が進捗可能な事業量の確保が必要であります。

要望事項

- 1 校舎等の新增改築及び大規模改造、特に耐震診断・耐震補強や校内LAN整備における、計画事業量に見合う国庫補助事業量の確保
- 2 校舎等の新增改築及び大規模改造にかかる補助単価の一層の引き上げ、補助対象範囲の拡大
- 3 小・中学校普通教室への冷房設備単独設置に対する国庫補助制度の創設

主な要望先：文部科学省（初等中等教育局財務課、大臣官房文教施設企画部、施設助成課）

本件に関する連絡先：教育委員会事務局 総務部 企画課長 中永健史 TEL075-222-3768

<参考>

○ 新しい時代に対応した学校施設の整備状況（平成15年度末現在）

・学校ふれあいサロン（余裕教室を地域開放施設に整備）	145校
・学校コミュニティプラザ（生涯学習にも活用できる学校施設の整備）12ゾーン	60校
・花と緑のグリーンベルト（ブロック塀等を緑の生垣に整備）	54校
・防災スクールウェル（井戸）	31校
・太陽光発電システム	25校
・学校ビオトープ（生物が生息する水辺等の整備）	4校
・屋上緑化	3校